

市民の声

秩父線行田市駅に
エレベーターの早期設置を

村田 秀夫
(日本共産党)

問 行田市駅にエレベーターがなく、住民が困っている現状を市長はどう認識しているのか。早急に設置すべきでは。

答 市駅は街の玄関口、観光の拠点となる駅であり、利便性の向上やバリアフリーの観点から設置は課題である。今後、橋上駅の耐久性や利用状況等を調査し、設置の可能性を考えていく。

問 設置に向けて、まずは秩父鉄道株式会社社長とトップ会談を行うべき。協議スケジュールは。

答 橋上駅の寿命、エレベーターの設置費用など経費が不明確であり、調査を始めたところである。複数の業者から見積もりを取り、確実な金額や県から補助金が出るのか否か、秩父鉄道との負担割合など、ある程度の考えを持って上で、皆さんにも報告をし、秩父鉄道と

協議をしていきたいと考えており、もう少し期間をもらいたい。

●北部地域(荒木、須加、北河原小学校)の3年後の再編に向けて

問 再編する地域の中学校校区ごとに置く「地域組織」はどのような組織か。

答 学校運営協議会委員、保護者、地域団体の代表者等が参加し、校名や再編に必要な事項を協議してもらう。ただ聞くだけの場ではなく、変更、再検討も含め議論し、合意形成を図る場である。

問 実行計画の内容は。

答 学校間で異なる事項の統一など3年間に調整すべき項目とそれに着手決定する時期、主体などを記載している。

その他の主な質問

○南河原支所・各公民館の機能充実を
○待機者ゼロを目指した特養の整備を

都市基盤整備

生活道路等の整備について

小林 修
(市民と共に働く会)

問 市民からの要望が高い生活道路等のインフラ整備は、市の重要施策に位置付けられており、財源を優先的に確保し重点的に整備を図るべきではないか。

答 現在、市民要望件数が990件、整備に必要な予算が150億円であり、要望も年々増加している。その全てを整備することは難しいため、一定期間で目標実施率を定め計画的に実施したい。

●都市計画道路常盤通佐間線について

問 行田市総合公園南側からの未整備区間の早期開通についてはどうなっているのか。

答 本年3月、沿線自治会を対象に都市計画決定の内容や近年の取り組み状況、今後の予定などについて、埼玉県行田市土整備事務所にも出席を依頼し、説明会を開催した。

現時点では事業実施時期が未定のため、今後も全線開通に向け、埼玉県と協力し、一日でも早く事業化されるよう取り組んでいく。

●街路樹について

問 南大通線のケヤキなどの街路樹は、道路沿いの騒音の緩和やきれいな街並みを形成しているが、大木化し過ぎており、良好な状態を保つことが難しくなっているため、早急に安全安心のため、管理方法を考えてはどうか。

答 対応策として街路樹の撤去や低木への植え替えなどが考えられるが、街を彩る緑は市民の財産でもあるので、今後は街路樹の在り方等について、市民の意見を伺いながら他市の状況を調査研究していきたい。

その他の質問

○水城公園の整備と維持管理について

高齢者支援

市営住宅に住む高齢者支援
について

江川 直一
(公明党)

長年市営住宅の5階に住む80歳を超えたご夫婦の話をお聴いた。そこで、高齢者に対する引越等支援について伺う。

問 2階以上に住んでいる後期高齢者の方は、何世帯あるのか。また、1階に引越しは可能か、引越し支援はできないのか。

答 本年5月31日現在、2階以上に住む後期高齢者は、63世帯あり、引越しは、空き室があれば可能である。現時点で引越し費用の援助などはないが、安心して暮らせるよう、調査・研究に努める。

●外国人市民の応援

市内に住む外国人は、本年5月1日現在、1632人おり、地域の中で生活になじむため、手助けをして欲しいとの要望がある。

問 災害時対応の情報提供

供、周知はどのようにしているのか。また、自治会などへ、コミュニティ支援はどのように対応しているのか。

答 7カ国語対応の防災ガイドを作成し、災害時対応・備えなどの情報提供を図っているが、避難情報の周知や、防災意識の普及、啓発が課題となっている。地域の防災訓練への参加を働きかけるなど、工夫して取り組んでいきたい。相談については、埼玉県が設置している外国人総合相談センターを紹介し、問題解決の支援を行っているほか、市内の任意団体による日本語教室も開催している。

問 多文化共生について、外国人市民の多い他市の状況を調査・研究しているのか。

答 群馬県太田市、大泉町などを参考に調査・研究している。